



シュンラン

【侍従川の浚渫工事における自然保護のお願い】

侍従川で昨年から2月にかけて浚渫工事が行われました。洪水に備えて堆積した土砂を削り取るという工事ですが、堆積した土砂を取り除いた後に重機を使って川底をさらに深く掘りアシやマコモを根こそぎ取り去るということが行われていました。

ご存知のように、アシやマコモは水を浄化して生き物の生息環境を整えるために植えたもので川の自然を維持するために必要な植物です。

侍従川には、ホタル、カルガモ、カワセミ、ハグロトンボ、ハゼ、ウナギ、アユ、モクズガニなどのたくさんの生き物が棲んでいます。

侍従川を工事する人たちは、川の自然の保護を考慮して作業をしていただくようお願いしたいと思います。



廣瀬隆夫 アシやマコモが根こそぎ取り去られた川底

シュンラン（春蘭） 学名：*Cymbidium goeringii*

北海道から九州にかけて広く分布している地性ランである。葉は直線的で地表から直接生え、細かい鋸歯がある。茎は偽球茎(バルブ)になる。部分的菌従属性植物であり、光合成のほかにも外生菌根菌と腐生菌から有機物を摂取する。

侍従川流域にも尾根や斜面に自生し、冬季は明るく夏季には薄暗いような落葉広葉樹などがモザイク状に広がる里山林を好む。

一昔前の山野草ブームによる大量盗掘や管理されない里山が増加し、森林が荒廃したことによって全国的に数を減らしている。西日本の田園地帯の斜面に自生していることもあるが、神奈川県では見られなくなってしまった。花期は2月下旬から4月中旬で、花は山菜として食用にもなる。

五月女陽斗



屋外を楽しもう ～冬の森を探検～

【活動報告1】

12月10日(日) 9:00～15:00

豊田あかり

朝比奈切通しを通過して、三郎の滝で生き物探し、十二所果樹園の展望広場で弓矢づくりをしました。

生き物探しでは、参加した子どもたちが冷たい水の中で元気にタモ網を振るい、たくさんの生き物を集めました。

【見つけた生き物】ヤマトヌマエビ、ヤマトテナガエビ、ヌマエビ、ヤマサナエ、カワゲラ、モンキマメゲンゴロウ、スミウキゴリ、シマヨシノボリ(副代表 佐野さん説明)

生き物探しの後、長い登り道を歩いて十二か所果樹園で昼食を食べ、弓矢づくりをしました。

竹を使ってうまく弓矢を作ると、大人も子どもも一緒になって遠くに矢を飛ばそうと盛り上がりました。

初冬の森の中は陽の光が柔らかく、紅葉している葉っぱもあって、歩くのがとても気持ちよかったです。参加された皆さん、スタッフの皆さん、ありがとうございました。



12月定例クリーンアップ&調査

【活動報告2】

12月24日(日) 10:00~11:55 曇りのち晴れ

飯村優介

実施範囲：六浦2号橋~大道橋

回収したゴミ：土嚢袋2袋、傘の柄

参加者：今井康祥、今井翔太(高3)、小池碧馬、柏倉陽向(高2)、貞廣宇保(高2)、五月女陽斗(中3)、寺尾勝廣、河本充雄、飯村優介(計9名)

確認した生き物：チチブ、ウロハゼ、マハゼ、シマヨシノボリ、ミナミテナガエビ、テナガエビ、モクスガニ、カワニナ、イシマキガイ、ガガンボ幼虫、黒メダカ、ヒメダカ、カルガモ(目視)、オオバン(目視)、スズキ(目視)、アユ(目視)、スミウキゴリ卵塊3(大道東橋下)、スミウキゴリ卵塊1(山王橋~二ノ橋)

気づいた点：ポイ捨てのゴミが多かった。

土が無くなっていて、ガサガサポイントがとても少なくなっていた。その代わりに生き物は岩の下などに隠れていた。

ここ何か月か連続してメダカが多数捕れるようになったことと、浚渫工事による流れの変化は、何か関係があるかもしれない。



1月定例クリーンアップ&調査

【活動報告3】

1月28日(日) 10:05~11:35 曇り

飯村優介

実施範囲：六浦2号橋~大道橋

回収したゴミ：土嚢袋2袋

参加者：寺尾勝廣、安藤正人、安藤恵理子、安藤大和(小3)、安藤千歳(小1)、金子英司、小池碧馬、五月女陽斗(中3)、飯村優介(計9名)

確認した生き物：ウロハゼ、チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、シマヨシノボリ、テナガエビ、ミゾレヌマエビ、ウキゴリと見られる卵塊1(第二山王橋付近)、コシボソヤンマ(ヤゴ)、シオカラトンボの仲間(ヤゴ)、ジョウビタキ(大道一丁目緑地前の木にて)

気づいた点：大道東橋下の瀬の良い産卵石が、工事で動かされてしまっていた。工事後に戻す必要がある。



フォトギャラリー ～1月定例調査で捕れた生き物～



ウロハゼ



チチブ



ウキゴリ



スミウキゴリ



シマヨシノボリ



テナガエビ



ミズレヌマエビ



ウキゴリと見られる卵塊



コシボンヤンマ (ヤゴ)



シオカラトンボの仲間 (ヤゴ)



ジョウビタキ



生き物発見記録&トピックス

- 1 / 1 3 (土) ジムグリを朝比奈市民の森にて確認 (五月女)
- 1 / 2 1 (日) ネイチャークラフト ～小型花瓶を作ってみよう～ は、申込みがなかったため中止
- 2 / 2 5 (日) 定例クリーンアップ&調査は、雨のため中止



大道溪谷保全作業 & ホトケドジョウ調査
2月18日(日) 10:00~15:00 曇り

【活動報告4】
金子英司

ゲンジボタル生息環境保全のための作業を実施した。例年通りの水路の土砂及び一部水草の除去作業を中心に行った。多様な生物相へのアプローチとして様々な環境を作るべく、1カ所地面を掘り下げて川の水を引き込み、止水環境を作ってみる試みをした。今後どの様なことに繋がるか確認をしていく。併せてホトケドジョウを中心とした水棲生物の調査も実施した。調査結果は次の通り。

参加者：松島2名、安藤（金沢動物園職員）、寺尾、飯村、五月女、金子

調査方法：区間ごとにタモ網で生物を採取、ホトケドジョウは数もカウント

調査時間：14:30~15:30頃

区間1 [校庭砂場奥側の水路] 68

区間2 [校庭の高いネット裏] 95

区間3 [高いネット終わりから体育館前] 19

区間4 [体育館前より下流] 4

その他確認できた生物：オオシオカラトンボ（ヤゴ）、ヤマサナエ（ヤゴ）、オニヤンマ（ヤゴ）、ショウジョウトンボ（ヤゴ）

備考：ホトケドジョウは、以前は区間1が一番多い印象だったが、現在は区間2が最も多くみられる。セリなど水草の隙間に多く見られた。また、今回の調査にて金沢動物園にホトケドジョウの生息域外保全（系統保存）用として数個体を持ち帰っていただいた。



整備作業前



整備作業後



作業の様子



止水環境



捕れたホトケドジョウ

朝比奈北市民の森のカエル産卵状況調査報告

朝比奈北市民の森農地にある、過去にヤマアカガエル産卵実績のある池が、農地を借りて作業している方によって埋められてしまい、残っている池が一つのみとなってしまいました…その池も3/2現在産卵はなし。農作業をしていた方に聞くと、ここ数年はカエルの声を聞いていないとのことでした。

同じ朝比奈北市民の森の別なエリアにある池では、アズマヒキガエルの繁殖行動が見られました。1ペアと1♂にメイトコール（オスの鳴き声）が確認できました。

今冬は暖冬で、各地ではすでにヤマアカガエルの卵塊は見られているので、当地のヤマアカガエルの安否が心配です。

侍従川流域での他のヤマアカガエルの産卵が見られる場所は、朝比奈小学校内ビオトープと朝比奈切通し入口の道路公団の敷地内と、希に侍従川中流域内…先述の朝比奈北市民の森、大道小学校内ビオトープではみられなくなったかもしれないです（後日再調査します）。

アズマヒキガエルは市街地にも見られ、個人宅の庭の池でも産卵するため、掌握が難しいです。侍従川中流域（明戸橋～長島橋）でも産卵が見られますが、現在行われている土砂掘削工事により見られなくなる可能性が高いので、この件も併せてカエルの卵情報がありましたらお知らせください。

山田陽治



埋められた池



アズマヒキガエル抱卵

「やまだようじの横浜金沢いきもの図鑑」

金沢シーサイドFM（85.5MHz）

2～4月毎週水曜日14:00～15:00オンエア中

金沢シーサイドFM <https://kanazawa-seasidefm.co.jp/>

FM++ (<https://fmplapla.com/kanazawa-seasidefm>) というアプリでも聞くことができます。

侍従川の旬の自然や活動を紹介しています。ぜひお聞きください。

山田陽治



侍従川流域水鳥調査報告「国道357号線延伸工事影響調査_水鳥版」

八景島から夏島に延伸する国道 357 号線が野島水路にかかる計画であることから、侍従川流域・特に野島周辺の生物への影響が懸念されるため、生物調査を実施していく。

今回は水鳥を調査対象としたが、今後、干潟の別の生物相も継続的に調査していく予定である。水鳥調査の結果は次の通り。

実施日：2024年2月17日（土） 天候：曇り

調査方法：目視（双眼鏡）にて見える範囲の鳥類を種類ごとにカウント ※橋などを目印に区間を区切って調査

調査時間：10:00～14:00

調査参加者：山田、金子

区間1：ノリヒビ周辺 オオバン 2、カワウ 1、ハクセキレイ 1

区間2：前浜～石組み防波堤 スズガモ 88、ヒドリガモ 16、オナガガモ 4、オオバン 9、カワウ 3、アオサギ 1、イソヒヨドリ 1

区間3：石組み防波堤水路側～野島水路沖側（沖側1/3のエリア） ヒドリガモ 18、オオバン 11、イソヒヨドリ 1、ハクセキレイ 1、キセキレイ 1

区間4：野島水路中央付近（沖側から2/3のエリア） オオバン 1

区間5：野島水路平潟湾側（沖側から3/3のエリア） カルガモ 2、オオバン 2、ハクセキレイ 1

区間6：鷹取川河口～夕照橋 オオバン 1

区間7：ハマボウ付近 ユリカモメ 3、カワウ 2

区間8：平潟橋～内川橋 カワウ 1、オオバン 3

区間9：内川橋～新川橋 カルガモ 2

区間10：新川橋～六浦二号橋 カルガモ 2、ハクセキレイ 2

区間11：六浦二号橋～大道東橋 カルガモ 4、ヒドリ 6

区間12：大道東橋～中野橋 カルガモ 12、アオサギ 1、コサギ 1

その他野島公園及び侍従川沿いで確認できた鳥類：トビ、カワラバト、ツグミ、ハシボソガラス



スズガモの群れ



ヒドリガモ



左:スズガモ、右:ヒドリガモ



357号線延伸予定箇所、河川内に見える植物がハマボウ（神奈川県絶滅危惧IA類）

金子英司

朝夷奈の森通信 ~森の忍者より~ 飯村優介

今冬前半は高温と少雨でキノコの生育や谷戸の水量が心配でした。侍従川の源流は地下水脈の水源が安定していて、大道溪谷や本流も良い流れを保ちましたが、鎌倉側で減水していた谷もありました。2月5日の南岸低気圧が恵みの降水になりました。大道は0.6℃くらいまでしか気温が下がらず、降雪量の割には積雪が少なめでしたが、源流の森から鎌倉アルプスにかけて見事な銀世界になりました。2月下旬に長雨もあり、天然シイタケも良く育ってきました。



鎌倉アルプス



鎌倉天園先のコル※

※コルとは登山用語で鞍部のこと。高度があり風の働きで雪がよく積もる場所(天園頂上と大平山との間のくぼんだ所)
編集部注:「北の国から」はお休みします。



天然シイタケ

事務局だより

◆4月~6月の活動予定

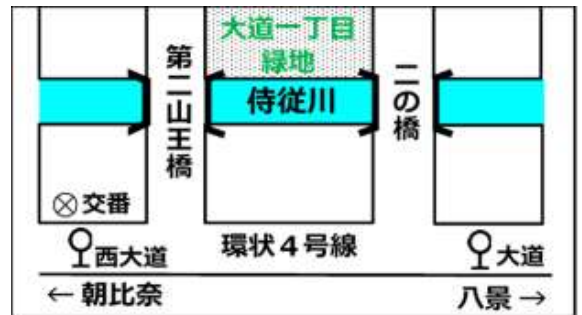
☆定例クリーンアップ 4/28(日)、5/26(日)、6/23(日)

10時~11時 大道一丁目緑地(旧称ちとせ園)

持ち物:川に入れる格好、タオル、軍手(必要の人)、網(使いたい人...貸出あり)、着替え(心配な人)

※川の上からの参加でも構いません

※雨天中止



☆春の野草摘みを楽しもう 要申込み(材料準備の為)

【日時】4月7日(日) ※雨天時は4/14(日)に順延

【集合】大道一丁目緑地(旧称ちとせ園) 9:30

【解散】大道一丁目緑地 14:30頃

【申込み】「氏名」「学年又は年齢」「携帯電話番号」「緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)」に加え「会員・非会員」の区分を記入の上、info@jijyukai.sakura.ne.jp (★を@に置き換えてください) に、4月4日(木)までに担当の寺尾までご連絡ください。



去年摘んだ野草

【参加費】 会員無料、非会員500円

【活動場所】 午前→朝比奈町で野草摘み 午後→大道一丁目緑地（ちとせ園）に戻る途中で料理試食

【持ち物】 参加費（非会員）、山歩き出来る格好、摘んだ野草を入れる袋（レジ袋など）、タオル、軍手、レジャーシート（必要な人）、お昼ご飯（買い弁可）、箸、器、マスク、マスク予備、除菌対策、その他

☆干潟の生きもの観察会 in 野島 要申込み

4～9月の夏季は日中、潮が良く引くため潮干狩り等にもってこいです。

特に、5月は暑すぎず、寒すぎず快適に海辺で過ごせる時期と言えるかもしれません。

そんな5月に潮干狩りをしながら干潟の生きものを観察しませんか？

【日時】 **5月11日（土）** 10:00～14:00

【内容】 潮干狩りをしながら干潟の生きものを観察します。お昼には採れたアサリ等の試食会も実施予定です！

【集合】 10:00に乙舳海岸（野島公園前浜） 【対象】 どなたでも

【持ち物】 海に入れる格好、網、バケツ、飲み物、昼食（軽め）、参加費（会員：無料、非会員：1000円）、着替え、その他潮干狩りや生きもの観察に使いたい物

【申込み】 参加頂く方のお名前、緊急連絡先（雨天中止連絡アドレス）を記入の上、info★jijiyukai.sakura.ne.jp（★を@に置き換えてください）に、5月9日（木）までに、担当の金子までご連絡ください。

【留意点】 ※雨天中止

※更衣室はありません。着替えタオル等を持って来ることをお勧めします。

※調理の際は火を使います。火傷等十分注意してください。

※幅15cmを超える貝採り器具の使用はできません。



イラスト：佐野汀^{みぎわ}

☆侍従川上流域調査 申込み不要

5月26日（日）のクリーンアップ後の午後、上流域の調査を実施します。

トンボ（成虫）の調査もするので捕虫網を持って是非お越しください。

【日時】 **5月26日（日）** 12:30～15:00頃

【集合】 大道一丁目緑地（旧称：ちとせ園） 【対象】 どなたでも

【持ち物】 川に入れる格好、飲み物、捕虫網、タモ網、バケツ、着替え、その他調査に使いたい物

【留意点】 ※雨天中止

☆干潟調査 in 野島「国道357号線延伸工事影響調査」 申込み不要

野島公園は横浜市内で唯一の自然の砂浜が残る貴重な海岸です。

現在、野島水路に夏島から八景島に掛けて国道357号線の延伸工事が計画されています（八景島～夏島の計画概要はこちら⇒ https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000730704.pdf）。野島にはアマモやハマグリなど貴重な生物の生息環境となっており、水路の干潟には神奈川県絶滅危惧ⅠA類のハマボウも確認できます。道路計画はそれら生物相にも影響が出る可能性もあり、現状の生物相の記録を取るために野島水路の干潟を中心に生物調査を実施します。

【日時】 **6月9日（日）** 10:00～14:00

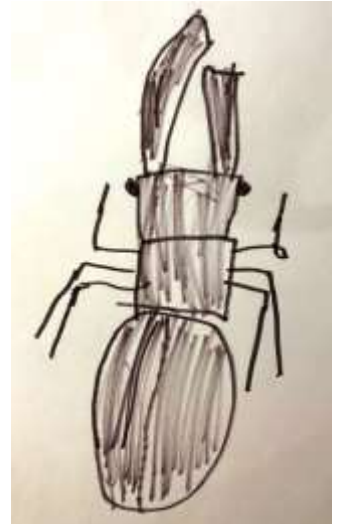
【内容】 干潟に生息する生物相の調査を実施。

【集合】 野島研修センター前 【対象】 どなたでも

【持ち物】 海に入れる格好、網、バケツ、飲み物、昼食、着替え、その他調査に使うもの

【留意点】 ※雨天中止

※更衣室はありません。着替えタオル等を持って来ることをお勧めします。



☆**会員の集い（総会・ホタル観察会）6月2日（日）に開催予定** イラスト：佐野汀^{みぎわ}
詳細が決まり次第、はがき、メーリングリスト（以下の「LINEグループ登録のお願い」にご注意ください）、LINEグループでお知らせします。

LINEグループ登録のお願い

これまで、会員の皆さまへのお知らせは、この会報の他に、メーリングリスト（らくらく連絡網）とLINEグループによって行ってきましたが、

- ① メーリングリストとLINEグループに同じ情報を流すのは2度手間であること
- ② メーリングリストは、ファイルが添付できないこと
- ③ LINEグループはアルバム機能があるため、活動の写真を共有できること、などの理由により、今後は、メーリングリストを廃止し、LINEグループに一本化する予定です。

まだLINEグループに登録されていない方は、この機会にぜひ登録ください。

登録はこちらから ⇨



≪編集後記≫ 侍従川の浚渫工事によって、アシヤマコモ、川底の土が根こそぎ取り去られてしまいました。生き物にかなり影響がありそうで心配です。(MK)

侍従会のホームページはこちら
<https://jijyukai.sakura.ne.jp/wp/>
これまでの会報を全て見ることができます。

